



「児童書編集の現場から」

～これからの子どもの本を考える～

出版社の仕事についてご存知ですか。知っているようで知らないことが実はたくさんあります。児童文学講座では、児童書を専門に扱っている出版社岩崎書店の編集部長をお招きし、お話を伺います。普段何気なく手に取って読んでいる本が、どのように作られているのか、興味深いお話がたくさん聞けるとおもいます。大人の方だけでなく、小学生・中学生・高校生の方たちもどうぞ、ご参加ください。申込みは不要、直接会場にお越し下さい。

日時 平成30年3月24日(土)

講演会 午後2:00～4:00

会場 もとまち公民館 視聴覚室

講師 まつおか ゆき
松岡 由紀さん



講師プロフィール

父の転勤に伴い、東京、名古屋、大阪の郊外で育つ。
東京女子大学大学院文学研究科(日本文学近代専攻)修了。
学部卒業後、ODA 関連の通産省の外郭団体に秘書をしていたが、
母校の大学院へ戻り、その後、1994年4月に株式会社岩崎書店入社。
2012年2月より、取締役編集部長。
主に、小中学校の学校図書館向けの書籍や、翻訳の絵本・読み物を担当。
大学での卒業研究のテーマが「宮沢賢治の童話」だったこともあり、
賢治童話に関する書籍もいくつか企画・編集している。



お問い合わせは国分寺市立もとまち図書館
☎042-325-4222

